

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	枚方市猫不妊手術費補助金		
所管部署	健康部 保健所 保健衛生課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市猫不妊手術費補助金交付要綱		
交付の目的	動物愛護の精神及び動物の適正な飼養の啓発を図るとともに、生活環境の保全に資するため。		
補助対象経費	地域猫以外の猫 3,500円 地域猫 オス10,000円 メス15,000円		
補助率・補助額	定額補助		
交付先	個人及び団体		
開始年度	平成6年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 〇 その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

				(千円)		
				H28	H29	H30
予算額				2,750	2,750	3,800
決算額				2,100	2,260	3,636
特定財源	国庫支出金		0	0	0	
	府支出金		0	0	0	
	その他		0	0	1,001	
一般財源				2,100	2,260	2,635
				(件)		
交付実績				600	616	942

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

その他

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無い確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	猫による生活環境被害の苦情が多いこと、かつ例年申請件数が補助件数の上限に達していることから当該補助制度のニーズは高く、さらに同様の補助制度が全国に存在すること、及び令和元年6月に動物の愛護及び管理に関する法律が改正され動物の不適切な取扱いへの対応の強化が進められていることから、必要性も高い。また、不適正飼養や苦情の原因となっている猫の飼主が当該補助制度を利用しており、適正飼養の啓発や市民の生活環境の改善に効果が見込まれることから、現状のまま継続する必要がある。
対応完了・廃止予定時期	